

《秋田支部》

（研修会・新年会）

秋田支部の年始めの行事として「研修会・新年会」があり、令和7年1月28日に会員27名出席のもと、秋田市の「パーティーギャラリーイヤタカ」において開催しました。

最初に当支部会員で協会けんぽ秋田支部業務部長の菅原裕宏氏による「マイナ保険証について」と題した研修会を行い、引き続き新年会を開催しました。渡邊支部長からの挨拶のあと、秋田年金事務所長の小松充生氏から「日本年金機構の現況」等についての説明と社会保険OB及び現役による「野球チーム」発足の報告と活動支援の要請がありました。新年会は元支部長の鈴木長八氏のご発声による乾杯で開会し、久しぶりの再会に終始笑顔と笑いの絶えない和気あいあいとした懇談の中で、盛会のうちに終了することができました。

社会保険倶楽部を取り巻く環境は厳しいものがあり、当支部も例外ではありませんが、会員には各倶楽部行事への更に多くの参加を呼びかけ、支部活動を活発に展開していきたいものと思っています。



(総 会)

令和7年度の定時総会が、5月28日、会員29名の出席のもとにパーティーギャラリーイヤタカ（秋田市）において開催されました。

渡邊支部長からの開会の挨拶に始まり、議案審議では令和6年度の事業報告及び収支決算報告並びに会計監査報告が行われ、続いて令和7年度の事業計画及び収支予算案が提案され、原案どおりに承認されました。

懇親会では、古希を迎えられた会員への「お祝い状」の伝達が行われ、秋田年金事務所長からは年金を取り巻く情勢等をご説明いただき、顧問の槇野様による乾杯のご発声により開宴となりました。終始和やかな雰囲気の中で大いに親睦が深められ、盛会のうちに一番の若手で現本荘年金事務所長の鶴木様の言葉でお開きとなりました。

